



開幕を彩るパレードで、躍動感のある演奏を披露する盛岡市立吹奏楽部＝26日、高松市

磨いた感性 夏を彩れ

香川 全国高総文祭が開幕



【香川県で報道部・山口桃葉】第49回全国高校総合文化祭（文化庁、全国高校文化連盟など主催）は26日、香川県で開幕した。31日まで、県勢約320人を含む約2万人が参加し、みずみずしい感性と研さんの成果

を発揮する。

高松市のあなぶきアリーナ香川で総合開会式を実施。終了後のパレードには46団体約1200人が参加した。県勢は盛岡市立吹奏楽部33人と岩手女子バトントワリング部12人が参加し、躍動感のある演奏と華やかなパトンスばきを披露。笑顔も輝き、沿道から拍手が送られた。

盛岡市立の細川智代部長（3年）は「少ない練習で不安もあったが、声援が力

になった」と充実の表情。岩手女子の中田悠月部長（同）は、28日の発表会に向け「練習の成果を発揮し、楽しく笑顔で頑張りたい」と決意した。

初日の県勢は、囲碁部門に出場した団体が2勝2敗、男子個人の田畑悠孝さん（盛岡四3年）が1勝3敗、女子個人の新本絢子さん（同2年）は2勝2敗だった。器楽・管弦楽部門で久慈マンドリン部が演奏し、自然科学部門では盛岡一が発表した。